

中山地区 公民館だより

NO 601
令和5年2月1日
中山地区公民館
Tel 676 - 2553

☆小正月行事・だんごさしの集い開催☆



1月14日（土）に小正月行事の「だんごさしの集い」が行われました。子供たちから短冊2枚に今年の目標（勉強やスポーツなど今年頑張る事）を書いてもらい、だんご木（みずき）に下げてもらってから、船せんべいや紙でできている飾り、PPバンドを編んで作った金魚などをつけてもらって最後に餅玉（だんごの代わり）を木に付けてもらいました。出来上がっただんご木は、公民館を訪れた人に見てもらえるように、1階の和室に飾られています。ぜひ、公民館に足を運んでみてください。（小正月行事のだんごさしは、五穀豊穡、無病息災を願って行われています。）

☆出前スポーツ教室 「ストレッチヨガ」☆

1月27日（金）に出前スポーツ教室「ストレッチヨガ」が、講師の横倉さんの指導で行われました。ヨガの基本の腹式呼吸を意識しながら、太ももやひざなどをさすったり、ゆっくりとした動きで体をもみほぐしていききました。終わった時には、体の中から温まり「来た時より背筋が伸びたみたい」という声が聞かれました。



☆ふれあい教室「映画鑑賞会」☆



1月13日（金）にこぶし会館で、16日（月）に中山地区公民館でふれあい教室「映画鑑賞会」が行われました。今年1回目の映画は池井戸潤原作で、野村萬斎主演の「七つの会議」が上映されました。製品のデータ改ざんを隠蔽しようとする中堅企業と親会社の間を、野村萬斎演じるぐうたら社員が仲間と協力して証拠を集め摘発するというちょっと重い話だったので、皆さんほとんど笑いもなく真剣に見入っていたため終わった時には、体がこわばっていたようで背伸びをしたり体を動かしたりしていました。

－ 2 月の行事予定－

2月 3日（金）女性講座「手芸教室」七宝焼き	中山地区公民館
地区役員会	中山地区公民館
6日（月）ふれあい教室「映画鑑賞会」夜明けの街で	中山地区公民館
10日（金）ふれあい教室「映画鑑賞会」夜明けの街で	こぶし会館
19日（日）わんぱく広場閉級式「モルック体験」	中山地区公民館
20日（月）出前スポーツ教室「カラーリング」	中山地区公民館
26日（日）女性講座「フラワーアレンジメント教室」	中山地区公民館
※状況により行事予定が中止又は延期になる場合があります。	

「いきいき・かみかみ百歳体操」	毎週水曜日 午前9時30分から
「ピンポンを楽しむ会」	毎週火・木曜日 午前9時30分から
「健幸体操」	毎週火曜日 午後1時30分から

－ 3 月の行事予定－（変更になる場合があります）

3月 3日（金）地区役員会	中山地区公民館
18日（土）上山市「二十歳のつどい」	上山市体育文化センター
21日（火）令和4年度中山地区会通常総会	中山地区公民館
24日（金）ふれあい教室「雪囲い外し」	中山地区公民館
地区役員会	中山地区公民館



健康 × モ 2月

毎日寒い日が続きますが、中山地区の皆さんいかがお過ごしですか？



今年は雪が降らない時期があったり、気温がいつもより高い、低い、などといつもと違う冬となっておりますが、体調を崩されている方はいませんか？新型コロナウイルス・インフルエンザウイルス等の感染防止対策と寒さ対策を、引き続き一緒に取り組みましょう。

2月は節分ですね。ご家庭で、豆まき・恵方巻きで厄を払い、福を呼び込みましょう！

2月17日(金)まで「世帯調査表」をご提出ください

1月末に各ご家庭に送付させていただいた「世帯調査表」のご提出をお願いします。

これは令和5年度の健康診断の希望調査となりますので、検診を希望しない方も含めて、調査表に記載された全員についての回答にご協力ください。

※かかりつけ医で定期的に受診している方も、市の健康診査を受けてみませんか？いつもの検査項目のほかにも、自身の健康状態を詳しく把握することができる機会です。ぜひご活用ください。

- ・対象年齢：20歳以上
- ・検診内容：基本健診、特定健診、がん検診（胃、大腸、肺、子宮、乳）
- ・健診会場：中山地区公民館、山形検診センター

※65歳以上の方は市内指定医療機関での受診も可能です
年齢や健康保険によって、受けられる検査項目や会場、料金は異なります。詳しくは、届いた世帯調査表と案内をご覧ください。



かみのやま健康ポイントにご参加の皆様、歩数はいかがですか。
寒い日は特に、準備体操をしてから、足元に注意して歩いて、体をポカポカにしましょう。
2月は冬の活動量アップイベントも企画しております。無理のない範囲で、皆様のご参加お待ちしております！

中山の民俗

☆四九〇号☆

中山の文化財について

中山地区は昭和三十二年に置賜郡からの編入合併である。よって文化財に関しては、旧上山市から刊行された書籍には触れられていない。しかも中世からの敵味方で、昭和二十年頃までは交流も少なかったし言葉も違い、置賜では上山の方々を「最上衆」と呼んでいた。

市でも、羽州街道と称して櫛下宿を中心に、予算を投じて調査報告書や展示を開催している。しかし、同じ市内でも、中山や山元・久保手といった、後の合併である地域の調査は行われていない。まして今後の調査は望めないが、令和期に入っては遅すぎて、失った文化財は多い。個人的に申し上げれば、櫛下宿と中山城下は、同等の景観である。中山地区における現在の文化財指定は「石造り中山橋と掛入石」で、小学校も休校となった昨今、この様な観念から、今後、どうしても保存したい文化財、中山城跡を述べる。その前に、近隣の指定文化財の近況を報告する。

平成二十一年、最上川の舟着場の見張りとして、寒河江大江氏の一族が居城していた西村山大江町の「左沢楯山城跡」が国指定となった。平成二十六年、修験道の名残を含む地域の一帯に、寺社が建立されている寒河江市の慈恩寺も国指定となった。また、寺院を囲むように構築された「肥前楯」・「尾山楯」・「ゴロビツ楯」も含めての国指定を申告している。

平成二十八年、鬼面川と大樽川が合流する地点の半島状に突出た米沢市の「館山城跡Ⅱ新田四郎義直居城」が、国指定。

【中山城跡】

平成九年七月、県埋蔵文化財調整会議において、国道十三号上山南バイパス計画路線が示され、九月にはいると、県教育委員会・県文化財保護審議会委員が現地視察・調査を行い、従来認識されていた城郭の範囲を超えて、中山城の一部として捉えられる遺跡が確認され、現状保存が望ましいと判断した。同月内に県教育委員会文化課は文化庁記念物課と協議を行い、国指定候補としての評価を確認し、地元において路線の調整を行うべき旨の指導を受けた。結果的には、バイパス工事中の指定は、文化財の破壊に充ので、開通後に「国指定文化財」となる、と約束を取り付けたのである。ところが、開通するまでの間、文化庁の技官も人事異動で、当時に約束した技官はおらず、市教育委員会要請で新しい技官が現状を視察、結果は、道路が出来て城郭の一部が破壊されたので、指定は無理であると、市長宛に文章が届いた。市でも何故か、伊藤先生や私共に連絡もなく、視察に応じたのかを悔やんでおります。その文書一枚で、市教育委員会も納得した経緯が軽率である。道路が出来ても国指定を約束していたからである。約束の詳細は参考文献で示す。市指定にもなっていない。

参考文献

上山市教育委員会『中世の城郭 中山城中山城跡調査報告書』平成十五年刊